

金山町立金山中学校 第10号

学校だより

令和5年12月4日発行
発行責任者:金山中学校長

令和の日本型学校教育の構築を目指して ~先生方も日々勉強~

社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきている中、子どもたちの資質・能力を確実に育成する必要があります。そのためにも「令和の日本型学校教育」と言われる「全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学び」を、学校教育で実現しなければなりません。各学校においては、教科等の特質に応じ、地域・学校や生徒の実情を踏まえながら、授業の中で「個別最適な学び」の成果を「協働的な学び」に生かし、更にその成果を「個別最適な学び」に還元するなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていくことが求められています。

そこで我々授業者がより効果的かつ効率的に教育を提供し、子どもたちにとってより充実した学びの環境を構築するためにも、日々の授業研究は必要不可欠です。個人で教材研究を積み重ねるとともに、授業研究会を通して多くの教育者の実践事例を共有することで、自身の教育活動を向上させることができます。これにより、教育の質が向上し、子どもたちにより良い学習体験を提供することが期待できます。

11月27日(月)には町内の小学校、高等学校の先生方、さらには会津教育事務所指導主事を本校に招き、授業研究会を開催しました。研究協議の中で教員同士がお互いの授業や教育活動に対して意見交換することで、授業者は自分の実践を客観的に評価し、改善点を見つけることができました。またこの日以外にも、すべての教員が互見授業、研究授業を行い、日々授業力向上に努めています。教師個々がブラッシュアップを図り、本校の教育活動に還元して参ります。



第45回福島県中学生バレーボール選手権大会出場

会津地区予選を勝ち抜いた本校男子バレーボール部は、11月11日（土）に福島市で開催された県中学生バレーボール大会に出場してきました。1回戦滝根中と対戦し、フルセットの末惜しくも敗れましたが、2セット目を粘って取り返し、また劣勢でも2年生を中心に最後まで声を出しながらチームを支えるなど、個々人およびチームとしての成長を随所で見せてくれました。試合当日会場に足をお運びいただいた多くのご家族の皆様から声援を送っていただき、さらには今大会に向け新しいユニフォームを金山町のバレーボールスポーツ少年団を中心とする有志の方々から寄贈していただくなど、地域の方々の多大なるご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。



Society5.0を逞しく生きるために

狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）という人類がこれまで歩んできた社会に次ぐ、5番目の新たな社会をSociety5.0と言います。この社会は、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより実現する社会であると言われています。

令和に生きる子どもたちは、生まれたときからパソコンやスマートフォンなどが身近に有り、インターネットを使ったゲームや通信などを自由自在にこなして成長しています。ビデオや画像などが簡単に手に入りやすく、自らの興味・関心に応じてさまざまな知識を身に付けることができます。

一方で、信頼性の低い情報を鵜呑みにしたり、顔が見えない相手との通信等で危険な状況に追い込まれたり、通信方法を間違えて大切な友だちから信頼を失うなどの負の部分も多くあります。さらに、多くの人と話し合い協働することが苦手で、知識はあるがコミュニケーションがうまく取れず人間関係を築く力が身に付かず大人になってしまうことも心配されます。

令和の時代は、これまで人類が培ってきた文化や伝統に加えて、新たな価値観やものが次々に創り出されることでしょう。AI（ロボット）が出現し私たちの生活そのものが予想を超えるスピードで変化していくと言われています。

こうした時代を生きる子どもたちには、コミュニケーション能力と自らの考えを発信できる言語力（日本語や外国語）が必要です。さまざまな人と関わり、価値観や考えに触れ、深く考えることが大切です。

これまでの教育で培ってきた良さを継承し、新しい環境のなかで子どもたちが逞しく幸せに生きるために必要な能力を育てていきたいと思えます。